



双葉東小学校だより

令和6年 9月20日 文責 学校長 窪田 正幸

運動会テーマ

限界突破！ 優勝目指し 龍のように駆け抜けろ

9月に入ってから厳しい暑さが続いています。休み時間に外遊びができない日もありますが、そんな日でも子供たちは室内で思い思いに過ごすなど、落ち着いた生活を送っています。

一方で、来月5日に迫った運動会に向けて、学年毎に表現運動、競争競技やリレー等の練習に、少しずつ取り組んできました。そして今日20日。さらに集中して練習や準備に取り組む「運動会特別日課」がスタートしました。児童会本部主催の全体会では、運動会のテーマや各色ごとの色リーダーや応援団の紹介が行われ、気持ちを一つにした取り組みが始まりました。期間中、子供たちは学年・ブロックごとの練習に加え、色組ごとの応援・全校種目練習、高学年は係活動等、日々精力的に活動していきます。

当然ですが、運動能力には個人差があり、苦手意識を持っている児童も少なからずいるかと思えます。しかし運動会は、スポーツ選手を育てるために行うのではなく、運動を通して子供たち一人一人の心身の確かな成長を目的に行うものです。それは、学習指導要領にも「運動に親しむ態度の育成・責任感や連帯感の涵養・体力の向上などに資するようにすること」と明記されています。

以下、運動会の特性やねらいを生かした指導のポイントや育てたい力を挙げてみます。

☆ポイント「運動を通して心身の成長を図る」

◎育てたい力

- 体力の向上
- 全力で頑張る力
- フェアプレイの精神…ルールを守る
- 勝敗への正しい態度…「勝って驕らず、負けて腐らず」健闘を讃え合う



☆ポイント「練習を通して集団としての質を高める」

◎育てたい力

- 集団行動力…集合時刻を守る 移動は素早くする 気持ちの切り替え
- 集中力…聴くときは、話し手の方を向き、最後まで黙って聴く。
- 協力・団結力・連帯感…ひとはみんなのために みんなはひとりのために

☆ポイント「運動会の運営に誇りを持たせる(高学年)」

◎育てたい力

- 責任感…係活動における一人一人の仕事ぶりが「運動会成功のカギ」である。異年齢集団活動において、高学年は頼りになる存在である。
- 自尊感情…責任を果たしたことへの大いなる称賛



「近代オリンピックの父」と呼ばれるクーベルタンは、「人生で重要なのは勝ち取るのではなく、良い戦いをするることである。」という言葉を残しています。結果のみにとらわれることなく、取り組みを通して自分自身を高め、競技にも表現運動にも応援にも全力を尽くすことの気持ちよさを味わえる機会となるよう、支えていきたいと思えます。